

会議録

会議名	第1回 天草市上下水道事業運営審議会
日時	令和6年1月24日（水）午後3時～午後5時
場所	本渡浄化センター 2階会議室
出席者	・天草市長 馬場昭治 ・審議会委員9名 ・事務局 10名 ※最終ページに掲載のとおり
資料	出席者名簿、諮問書写し、説明資料（水道事業の現状、下水道事業の現状）
記録方法	会議内容の要点記録

会議内容

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開会 [司会：経営管理課長]
市長	2. 委嘱状交付 ・市長より各委員へ交付 3. 市長あいさつ ・審議会委員の職を快くお引き受けていただきお礼を申し上げます。 ・正月に発生した能登半島地震は被災された方にはお悔やみ申し上げます。地形的に本市と同様の半島地域。道路や上下水道、電気の寸断など、天草付近で地震が発生した場合を考えると強く心配になる。 ・水は生命維持だけでなく市民生活や社会経済活動を支える重要なライフライン。水道ビジョンで示す「安全」「強靱」「持続」の3つの概念を柱に、安全で安心な水道水を安定的に供給することが最大の責務で、市民生活にとって最も重要と認識している。 ・下水道は川や海の環境を守り改善を図るため大変重要な施設。大雨による浸水を防止する役目も果たし、安心・安全で快適な生活を支えており、上下水道共に災害に強い施設を構築することが求められている。 ・人口減少に伴う料金収入の減少、施設の更新需要の増大、物価高騰による経営の圧迫など、事業の持続性を確保するには非常に厳しい事業環境に直面しており、本市上下水道における施設整備計画や財政計画を明確に示し、事業運営の適正及び健全化を図るため皆様にご審議頂くことを審議会設置の目的としている。 ・数カ月の期間、委員の皆様は事務局提示の資料等をもとにご審議、多様な意見を頂きながら、今後の上下水道事業運営に取り組んでいく所存。どうぞ協力をお願いします。
事務局	4. 委員紹介 ・事務局より紹介
事務局	5. 天草市上下水道事業運営審議会について [説明：水道局長] ・条文に沿って説明。 ・会議は会長が招集し、会長が会議の議長となっているが、本日は第1回目のため事務局で招集させて頂いた。 ・平成18年の合併時は旧市町単位ごとに上下水道料金はバラバラで、水道料金は高い所と安い所で2倍程の開きがあった。その格差を解消するため、平成21年度には料金の高かった御所浦、牛深、五和、天草地区の水道料金を栖本なみに引き下げ、後の平成27年12月より市全域の水道料金と下水道料金それぞれ統一。平成29年度に上水道と簡易水道を事業統合し現在に至っている。
事務局	6. 会長・副会長の選任 事務局案により、会長を浦上拓也氏、副会長を川越保徳氏を選任。
会長	○浦上会長あいさつ 馬場市長は私の亀川中学・濟々巒高校の先輩に当たり、水道新聞の紙面で対談記事を掲載されるなどご縁があった。生まれ故郷に恩返ししたいと思っていた。 2018年12月の水道法改正の専門委員会の専門委員を努め、中身を熟知している。また、今年4月に水道行政が厚生労働省から国土交通省に移管される（今後、上下水道を一体的に政策を打てるようになる）。この検討会の座長を務めている。他にも、地方の審議会の会長もさせていただいており、天草市の審議会会長としてふさわしいと自負している。 将来の子孫にしっかり受け継ぐ事業にしたいので、よろしくをお願いします。

市長	<p>7. 諮問 市長が別紙「諮問書」を読み上げる</p>
事務局	<p>8. 議題 (1)水道事業の現状〔説明：経営管理課水道庶務係長〕</p> <p>○水道事業の質疑応答</p>
会長	<p>市長から諮問いただいた「水道料金・下水道使用料の適正化」について皆さまのご意見をいただき集約して答申とするわけですが、適正化のイメージがわからないと思う。</p> <p>これから勉強していただき、どれだけ投資額が必要で、それに見合う料金を負担していただくか検討をしていく。</p> <p>普段特に考えずに使っている水道ですが、水道局の人たちがどうやって水道システムを作り上げてきたのか理解できたと思う。</p> <p>老朽化を迎えている施設を修繕するのか、そのままにするのか判断が迫られる。</p> <p>能登半島地震では、これまででない判断をしなければいけない。住むのをやめよう水道を通すのをやめようということも検討される。実は、天草市でもそんなことも考えて検討が必要になってくる。</p> <p>水道の概要を説明いただいた。この段階で理解できた事、できなかった事など質問してほしい。</p>
委員	<p>人件費は合併前と今を比べると減っていると思うが、どれだけ減っているのか？</p>
事務局	<p>水道局の人数は平成18年は50人、令和4年度は32人 市全体でも人員削減に取り組んでおり、H18=1,567人→ R4=946人 公営企業では H18=342人 → R4=282人 天草市全体で定員削減計画を行ってきたので、これからは横這いとなる。</p>
委員	<p>管の老朽化が進んでいる。改修率が0.23%で400年かかるということだが、これを早めるには料金改定が必要と思う、金額が見えていたら教えてほしい。</p>
事務局	<p>→管路更新計画はあるが次回説明しようと考えている。 管路もすぐに替えるべきもの、そうでないものランクがある。</p>
委員	<p>水道事業は無知だったが、ケーブルTVの「D o あまくさ」で詳しく水道の事を説明されてて良かった。そのようにして情報発信すると良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>→これからも情報発信をしていければと考えている。 審議会の内容も、発信できる段階になれば出したいと思う。</p>
委員	<p>Y o u T u b e 「あまくさシティチャンネル」でも見ることができます。</p>
委員	<p>説明資料の中で西暦と和暦が混在して見づらいので統一をお願い。</p>
委員	<p>経営を維持するためには、収益を上げることと経費を下げることの2面性あり、両方同時に考えていく必要がある。人口増は見込めないで料金を上げるしかない。これをカバーするための国の補助金があるのかどうか（国の国土強靱化計画で水道の施策などないのか）？ 93.5%が給水エリアだが、今後コンパクトシティなど目指し取捨選択が可能かどうか？ など勉強させていただきたい。</p>
会長	<p>補助金は各省庁がスキームを持っているのでその情報をキャッチしないといけない。</p> <p>水道法改正で、計画区域の縮小も認められるようになったので、今後視野に入れていなければならぬ。</p>
委員	<p>私もケーブルTVで見た。水源の事や水がどうやって運ばれてくるのか分かり易かった。関心が無かった人も関心を持ってもらえると思う。それに加えて人口減少や財政的にも厳しくなることは、子育て中の人にとっては非常に大切なこと。天草市は水道料金が高いと良く聞くが、安全であることを正しく知ることが大事。私も正しく伝えることができる一人になることができれば良いと思っている。</p>
事務局	<p>→熊本市は浅井戸から水が出るため浄水場はない。天草は表面水をダムなどに貯めるためその負担金があったり、浄水場も多い。これから如何に減らしていくかを考えていく必要がある。</p>
委員	<p>利益が出ているという事だが、R 1 と R 4 に差があるのはなぜか？</p>

事務局	→この差は、一般会計繰入金（条件が悪い簡水区域分として特別にもらっていた基準外繰入金を）がR3から一気に1億円減となった。
委員	H29とR4の収益が同じなのはなぜ？利益が出るとそれが積み上がってくるがそれがどういう風になっていくのか？
副会長	具体的には、収支状況を全て出さないと説明できない。細かなデータは次回出してもらう。
副会長	有収率はどの程度？（漏水はどの程度？）耐用年数は何年？経費回収率は？ ※有収率は、作った水がどれだけ家庭に届くかを示すもの。
事務局	→有収率は81.95%（R3）、経費回収率は86.33%（R3） 耐用年数は管種類で違うが、鋼管、铸铁管は40年、新しいのは100年
副会長	・楠浦と亀川ダムでは何人賄っているかなど、人口的な資料が欲しい。 ・水道ビジョンの策定年度と期間はどうなっているのか？現状と課題、推計データは載っているのかそれとも方針や理念だけなのか？そのデータを使ってこの資料を作っているのか？
事務局	→水道ビジョンは平成30年度に10年間の計画を策定している。 細かなデータまでは載せていない。
副会長	10年間のビジョンだったら、普通は5年で見直す（過去5年はどうだったから、次はどうすべきとモニタリングして、早いところは2年で見直す）。 天草市の水道ビジョンをこの機会に改定するか若しくは5年早めて新たなものを作ってはどうか？ 市民の皆さんに出すと考えると、今後こういうことをやると整理したものを作られた方が良い。 私は熊本県の第2期水道ビジョンの委員会に入っていた。 熊本県の情報が入っていないと感じたので、県との距離を縮めて情報を得てほしい。 あと、アセットマネジメントは策定しているか？耐震化計画はあるか？
事務局	（2）下水道事業の現状 〔説明：経営管理課下水道庶務係長〕 ○下水道事業の質疑
会長	下水道は水道より産業的に複雑で勉強していただく部分は多いが、今日は時間をかけられないので、今後きちんと理解していただく機会を設ける。
副会長	上水道区域と下水道区域はどうなっているか？
事務局	→上水区域が広く、下水道は一部のみ。佐伊津など上水道がない下水道区域もある。
副会長	浄化槽など下水道以外の排水については審議の対象ではないのか？
事務局	→この審議に含めない。下水道事業のみが審議する対象。
会長	公共下水道と集落排水事業を下水道事業会計1つで経理されているのは、他の自治体に無い天草市の特徴であり皆さんに勉強していただきたい。
委員	地下水は下水道に流して良いのか？
水道局長	→佐伊津は地下水にメーターを付けて検針し、下水道使用料をいただいている。
会長	9. その他 ・次回の開催日 3月27日（水）午後3時～ 後日通知させていただく。 今年度に2回、次年度は4回の予定になっているという事ですので、今年度中にあと1回やっておきたい。
	10. 閉会

天草市上下水道事業運営審議会 出席者名簿

	氏名	所属・役職	出欠
委員	浦上 拓也	近畿大学経営学部 教授	出
委員	川越 保徳	熊本大学工学部 教授	出
委員	野崎 多喜子	天草市商工会 女性部長	欠
委員	野上 俊樹	本渡商工会議所 副会頭	出
委員	中村 富人	牛深商工会議所 副会頭	出
委員	稲津 千明	倉岳まちづくり協議会 会長	出
委員	佐藤 千恵子	天草市地域婦人会連絡協議会 理事	出
委員	原田 良	天草本渡青年会議所 理事長	出
委員	澤田 福美	NPO法人子育てネットワークわ・わ・わ 理事長	出
委員	植田 伸広	天草市総合政策部長	出

	氏名	課名・役職	出欠
事務局	齊藤 正	天草市水道局長	出
事務局	浦崎 和義	経営管理課長	出
事務局	福田 和行	水道課長	出
事務局	田中 司	下水道課長	出
事務局	山川 勝登士	経営管理課 水道庶務係長	出
事務局	宮本 諭	経営管理課 下水道庶務係長	出
事務局	宗像 俊治	水道課 工務係長	出
事務局	浦崎 貴裕	水道課 施設管理係長	出
事務局	松尾 裕文	下水道課 施設整備係長	出
事務局	沖津 悟	下水道課 施設管理係長	出